

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300246
事業所名	グループホーム 東栄の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町の文化祭観覧やコメディミニサーカス、龍洞院の桜まつりでは志多ら太鼓見学等、地域行事には積極的に出かけています。また本年は町内の喫茶カフェが出張くださり、手作りケーキや珈琲、ジュースを愉しむ機会もありました。ケーキは数種類から選ぶことができ、普段食欲のない人も大きなシフォンケーキがあったという間に消えてしまったという具合で、職員にとっても嬉しい1日となっています。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） これまでは保険者（町）の参酌基準適用によって運営推進会議は年4回の開催でしたが、昨年から三河広域連合へと保険者が変わり、年6回開催を遵守しています。区長、民生委員、家族代表、利用者、町役場住民福祉課、地域包括支援センターとメンバーを揃え、例えば風水害の協議においては「大変な場合は家に引き取っても～（家族）」「指示がでるまで～（町）」と、それぞれの立場からの意見で話が広がるというメリットを享受しています。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 「入居、退去も都度報告を」と、行政窓口には努めて出向くようにしています。また本年、町立東栄病院が東栄医療センターと名称を改め、診療所となったことは運営推進会議でも話題となっており、今後予定されている無床化にあつては「入院できない」ことが心配の種であり、また救急搬送が町外病院となるため家族負担が明らかに増すことから、事業所としても一層行政との連携を図り、少しでも家族や職員の心配を減らしていきたいとしています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） キーパーソンが甥、姪の場合は兄弟姉妹が出席くださる等して毎回大盛況となる家族会を年1回実施しています。職員も各ユニット毎に知恵を絞って、例えば1号館では「ボールでボトルを倒す」ゲームを手作りし、思わず立ち上がりエイツとボールを投げる雄姿を見せる利用者もでるほどです。チームワークや集中力が求められるよう工夫されていることもあって、ゲーム後お汁粉や漬物で寛ぐ利用者や家族には笑顔が絶えず、次回開催が双方の楽しみとなっています。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎